



2021年12月23日

各 位

会社名 株式会社ボルテージ
代表者名 代表取締役社長 津谷 祐司
(コード番号：3639 東証第一部)
問合せ先 経理本部長 大島 小百合
(TEL.03-5475-8193)

新市場区分の移行先変更（スタンダード市場を選択）のお知らせ

当社は、東京証券取引所（以下「東証」）「新市場区分（2022年4月開始）」の移行先として、8月12日付「プライム市場維持基準への適合に向けた意思表示に関するお知らせ」の通りプライム市場を予定しておりましたが、その後、環境変化の再認識と長期戦略の見直しを決断するに至り、スタンダード市場に変更しましたのでお知らせいたします。

1年半の新型コロナ自粛生活はユーザーのアプリ利用行動に大きな影響を及ぼし当社はそれに対応してまいりましたが、4回目の緊急事態宣言が空けた10月以降、ウイズコロナ生活という新たな段階に進展し、アプリ市場全体で利用状況は一段と低迷しております。また、この半年、スマホ上での個人情報保護機能が一層強化されるなど、ビジネス環境も大きく変化いたしました。

当社としては、これら環境変化に対応すべく長期戦略を見直すことといたしました。11月の決算説明会で発表したように、不採算事業をシビアに判断し、経営資源を成長可能事業に集中していきます。リアルイベントやWeb動画は単独事業ではなくファンダム要素として展開することし、「主たる事業ドメイン」を従来の5から3に絞り、物語アプリ／電子コミック／コンシューマといたします。

これら事業の成長は、有効な勝ち筋を把握することで成し得ますが、戦略を見直したことにより、当初の想定より時間が掛かる可能性があります。つきましては、当社は、移行先をスタンダード市場に変更し、腰を据えた模索を行うことにより確実な業績及び企業価値の向上を目指します。

2021年12月23日開催の取締役会においてスタンダード市場を選択し、東証に申請することを決議いたしました。なお、7月9日付で東証より「新市場区分の上場維持基準への適合状況に関する一次判定の結果」を通知されており、スタンダード市場の上場維持基準はいずれも満たしております。

今後は、東証が定めるスケジュールに従い、新市場区分の選択申請に係る手続きを進めてまいります。

以上